

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 28 年度 第 3 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 28 年 11 月 18 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：兼子、浅野、棚村、帖佐、佐藤、清水、乙訓、柴、高木

欠席者：高崎

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

大阪医科薬科大学より郵便がありました。（平成 28 年 10 月 14 日）

内容は本学附属病院中央検査部にて臨床検査技師「管理職候補」についての募集案内で勤務条件及び求人票が同封されていました。この件については岐臨技 HP の求人情報に掲載いたしました。（高木部長）

平成 28 年度岐臨技医学検査学会における市民公開講座の講師について太田監事より推薦をいただきました。（平成 28 年 10 月 16 日）

講師には日本温泉科学会評議員の古田靖志先生を推薦いただき常務理事より多数の賛同をいただきましたので報告いたします。（高木部長）

古田靖志先生の講演料は如何いたしましょうか。（兼子議長）

3 万円でどうでしょうか。（浅野副会長）

平成 28 年度岐臨技医学検査学会における市民公開講座の講師について、本常務理事会に於いて古田靖志先生を講師としてお招きし、講演料 3 万円とすることで承認しました。

今後は県学会の担当の方と打ち合わせしてください。（兼子議長）

11 月 27 日に開催される生物化学分析部門の実技研修会ですが参加者が予定数の半分以下となっています。理事の方々に参加者を募って頂きたい。（平成 28 年 11 月 16 日）

（高木部長）

コスタ岐阜県庁前管理組合第 24 期通常総会が 11 月 28 日（月）の 20 時より、ふれあい福寿会館 4 階会議室であります。議題は、第 24 期収支決算及び事業報告に関する件、管理委託契約の更新に関する件、鳩対策工事の実施に関する件、第 25 期収支予算及び事業計画に関する件、次期役員選任に関する件である。庶務部長が出席します。（高木部長）

高木理事より岐阜地区からの報告があった。

第 37 回ぎふ市民健康まつりについての報告があった。

前日準備は 11 月 5 日、午後 5 時より約 2 時間、前年度岐阜地区理事と今年度岐阜地区理事が参加して行った。開催日は平成 28 年 11 月 6 日（日曜日）、実施会場は 岐阜市文化センター 1 階催物広場 北側出入口付近。実務委員は当日、午前 8 時半に集合し血管

年齢測定器ダイナパルス 3 台・尿検査・超音波診断装置 2 台を搬入。午前 9 時にスタッフ 48 名が 1 階催し広場、北側出入口付近臨床検査コーナーに集合した。兼子会長の挨拶と後藤理事よりスケジュールの説明があり頸動脈エコー・血管年齢測定・尿検査の各コーナーに分かれそれぞれのリーダーが説明し準備完了となる。午前 10 時に健康まつり開会式が始まる。午前 10 時半より検査を開始した。スタッフの昼食は午前 11 時半～午後 2 時 交替して昼食に入った。午後 3 時に検査受付を終了。午後 3 時半に検査を終了し、後片付け後集合写真を撮り解散した。当日の服装は白衣、またはスタッフジャンパーでスタッフジャンパーは技師会から何着か用意した。駐車場については井上精機さんの駐車場 11 台と井上精機さん前のコインパーキング (700 円/日) を利用。スタッフ名簿に記載してある駐車場を利用していただいた。コインパーキング利用の方は、領収書を発行し後日精算した。今年度の実績は来場者数 16341 名、尿検査 224 名、血管年齢 785 名、頸動脈エコー 202 名であった。最終予算については次回理事会で報告します。(高木部長)

次年度岐阜地区理事が担当する春季拡大研修会、及び第 56 回医学検査学会の日程について。早めに会場を押さえたいと思います。日程はいつ頃がよろしいでしょうか。春季拡大研修会についての研究班及びテーマはどの様にいたしましょうか。(高木部長)

会場は駐車場が無料である場所を探していますがふれあい福寿会館は開いていませんでした。(高木部長)

できれば県の申請に間に合わせるため 6 月の前半にお願いしたい。(柴部長)

県学会は 3 月の前半は臨床病理と重なるため出来れば第 3 週の日曜日をお願いします。(帖佐部長)

県学会については、ふれあい福寿会館をできれば予約したいと思いますが、抽選です。(高木部長)

平成 25 年に春季拡大研修会を大学記念会館で開催していますので、よろしければ施設使用状況を調べてみます。(帖佐部長)

大学記念会館が開いてなければ岐阜市民病院や東海中央病院も調べてください。(兼子議長)

担当部門の研究班は既に決まっていると思います。確認します。(浅野副会長)

来年度担当する 2 部門が分かったら部門長会議でテーマも検討してください。(兼子議長)

高木理事より平成 28 年度岐阜地区総会についての連絡があった。開催日時は平成 29 年 1 月 27 日(金) 19 時 30 分より。開催場所は長良医療センター外来棟 2 階 第一会議室。議題は平成 28 年度の技師会活動報告及び平成 29 年度の技師会活動計画についてである。(高木部長)

柴部長より東濃地区より第 55 回岐阜県医学検査学会の趣意書及び予算案についての報告が

あった。

県学会の説明の前に11月13日にセラミックパークMinoで秋季拡大研修会を開催しました。参加者98名で市民公開講座は11名の参加がありました。詳細内訳は次回理事会で市川理事より報告させていただきます。(柴部長)

柴部長より県学会に関する趣意書についての報告があった。

<賛助会員 各位への趣意書>

謹啓、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、岐阜県臨床検査技師会に対しまして格別なるご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、来る平成29年3月12日(日)に、セラミックパークMINOにて第55回岐阜県医学検査学会を開催する運びとなりました。

本学会は(一社)岐阜県臨床検査技師会主催で、臨床検査に関する学術講演、市民公開講座、一般演題発表が行われ、臨床検査の進歩、発展、普及に貢献しております。

今回我々は、1日間の会期で、地域医療に密着した医学検査についての研鑽の場となる学会にしていきたいと考え、鋭意準備中であります。

また本学会は、経費節減を図るよう努力しており、学会の開催にあたりましては、最小限の資金で運営したいと思っております。

つきましては、貴社におかれましても、厳しい経済状況のなかではありますが、本学会の趣旨をご理解の上、誠に恐縮でございますが、別紙要項にて、抄録集の広告掲載、ランチョンセミナー講演を賜りたく、書面においてお願い申し上げる次第でございます。末筆になりましたが、貴社の益々のご発展を祈念申し上げます。謹白

<ランチョンセミナー御講演のお願い>

当学会の主旨にご賛同いただけましたら、御講演をお願いいたします。

募集要項

1. 御講演について：第55回岐阜県医学検査学会ランチョンセミナー
2. 御講演時間：別紙開催要項をご参照ください。
3. 募集件数：2件(定数になり次第締め切らせて頂きます。)
4. お申込期限：平成29年1月13日

抄録集に御講演内容を掲載させていただきます。抄録を平成28年1月13日までにメールにて送付お願い致します。

申込み 抄録送り先： 申込書をご参照ください。

<抄録集広告掲載のお願い>

学会参加者に配布する抄録集に掲載する広告を募集いたします。お申し込み頂きますよ

うお願い申し上げます。

抄録集広告要項

1. 広告媒体の名称：第 55 回岐阜県医学検査学会・抄録集
2. 作製費用：17 万円
3. 発行部数：350 部
4. 配布対象：学会参加者等
5. 広告スペースと料金：モノクロ＜A4＞ 1 万円
6. 募集数：約 8 件

原稿は版下の郵送、もしくは PDF ファイルをメール送信（学会事務局）にてお願いいたします。掲載は五十音です。

7. 広告申し込み先：学会事務局まで別紙の F A X またはメールでお願い致します。
8. 応募締切日（版下送付期日）平成 29 年 1 月 13 日
振込先：申込書をご参照ください。
Fax：0572-22-5219（一社）岐阜県臨床検査技師会主催 第 55 回岐阜県医学検査学会。

<ランチョンセミナー講演申込書>

実行委員長 美濃輪縁 殿

貴学会ランチョンセミナー講演に申し込みさせていただきます。

貴社名

ご住所

電話番号

ご担当者ご芳名

メールアドレス

お申込・抄録送付先：

〒507-8511 多治見市前畑町 3-43 多治見市民病院
第 55 回岐阜県医学検査学会 事務局 棚村 一彦
Tel 0572-21-3735、Fax 0572-22-5219
メール：k-tanamura@kouseikai-tajimi-shimin.jp

お申し込み期限：平成 29 年 1 月 13 日

抄録受付期限：平成 29 年 1 月 13 日

Fax：0572-22-5219（一社）岐阜県臨床検査技師会主催

<第 55 回岐阜県医学検査学会 広告申込書>

実行委員長 美濃輪縁 殿

貴学会の抄録集広告掲載を申し込みさせていただきます。

広告料金 モノクロ＜A4＞：1万円

貴社名

ご住所

電話番号

ご担当者ご芳名

メールアドレス

お申込先：〒507-8511 多治見市前畑町 3-43 多治見市民病院

第55回岐阜県医学検査学会 事務局 棚村 一彦

Tel 0572-21-3735、Fax 0572-22-5219

メール：k-tanamura@kouseikai-tajimi-shimin.jp

お振り込み先：十六銀行 県庁支店 普通 口座番号 1323977

(一社) 岐阜県臨床検査技師会 会長 兼子 徹

お申し込み・お振込み期限：平成29年1月13日

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

<第55回岐阜県医学検査学会 開催要項>

担当：東濃地区

日時：平成29年3月12日(日) 9:20~15:50 (受付8:45~)

会場：セラミックパーク MINO 1F 国際会議場

(岐阜県多治見市東町 4-2-5 TEL:0572-28-3200, FAX:0572-23-0884)

参加予定人数：約100名

講演：

1) 教育講演

講師：未定

講演テーマ：『未定』

2) 市民公開講座

講師：未定

講演テーマ：『未定』

一般演題：

全領域で14演題を予定

ランチョンセミナー

20分×2社

1) 未定

2) 未定

学会プログラム(案)：

8:45 受付

9:20 開会

9:30 一般演題（7演題）
11:10 教育講演
12:10 ランチョンセミナー（1）（2）
13:20 市民公開講座
14:20 一般演題（7演題）
15:50 閉会

実行委員長： 美濃輪 縁理事（岐阜県立多治見病院）

事務局： 棚村 一彦理事（多治見市民病院）

市川 浩良理事（中津川市民病院）

事務局： 〒507-8511 多治見市前畑町 3-43 多治見市民病院

第 55 回岐阜県医学検査学会 事務局 棚村 一彦

Tel 0572-21-3735、Fax 0572-22-5219

メール：k-tanamura@kouseikai-tajimi-shimin.jp

<第 55 回岐阜県医学検査学会予算案については>

収入項目

参加費：10,000 円×100 人（100,000 円）

広告収入：8 社見込み（80,000 円）

研修会等協賛金：ランチョン協賛金 2 社（100,000 円）

合計収入額：280,000 円

支出項目

会場費：セラミックパーク美濃、暖房費含む（70,000 円）

消耗品：講師大茶類（2,000 円）

印刷製本費：抄録集 350 部、横断幕大 1・中 4（300,000 円）

諸謝金：講師 2 名、交通費込（65,000 円）

食卓費：1080 円の弁当 110 個（118,800 円）

旅費交通費：500 円×人数分（8,000 円）

日当：1,000 円×人数分（16,000 円）

合計支出額：589,800 円

収支額：-299,800 円

打ち合わせ会議費（2 回分の日当、食費及び交通費）と前準備の日当交通費は、含まれておりません。（柴部長）

柴理事より第 55 回岐阜県医学検査学会・第 1 回実行委員会のついでに報告があった。

日時は平成 28 年 11 月 13 日。場所はセラミックパーク MINO 国際会議場。出席者は松井 明男先生（岐阜県立多治見病院）、美濃輪 縁さん（岐阜県立多治見病院）、可児 あかねさん（岐阜県立多治見病院）、棚村 一彦さん（多治見市民病院）、久保田 仁志さん（多治見市民病院）、兼平 昌彦さん（土岐市立総合病院）、上村 まどかさん（土岐市立総合病院）、渡辺 常夫さん（東濃厚生病院）、伊藤 三穂さん（市立恵那病院）林 佳菜美さん（市立恵那病院）、市川 浩良さん（中津川市民病院）、梶川 裕司さん（中津川市民病院）、原 文明さん（国民健康保険坂下病院）13 名であった。（柴理事）

議題は第 55 回岐阜県医学検査学会の準備会議で、内容は学会までのタイムスケジュール(案) 10 月理事会提出資料・企画書(学会プログラム)(案) 10 月理事会提出資料・予算書(案) 修正了承資料・スタッフ名簿の誤字・脱字等確認等各資料に基づいて会議を行った。(柴部長)

一般演題登録依頼数は 14 題を目標にしていますがまだ集まっていません。ご協力お願いします。(柴部長)

演題内容としては病理・細胞診で 2 症例、生物化学で 2 症例、生理部門で 2 症例、一般部門で 2 症例、血液部門で 2 症例、微生物部門で 2 症例、輸血部門で 2 症例を予定している。集まらなければ、岐阜県立多治見病院、多治見市民病院、土岐市立総合病院、東濃厚生病院、中津川市民病院の各地区施設で 1 症例ずつ依頼する。(柴部長)

ランチョンセミナーと広告協賛依頼についての趣意書は作成済で会長印は技師会事務局にて捺印予定である。送付は技師会事務局経由で了解済(10~11 社、内 4 社打診済)

今回の主要メンバーは学会長松井 明男先生(岐阜県立多治見病院)、実行委員長 美濃輪 縁理事(岐阜県立多治見病院)、学会事務局 棚村 一彦理事(多治見市民病院)、市川 浩良理事(中津川市民病院)である。(柴部長)

教育講演がまだ決まっています。どのようにいたしましょうか。(柴部長)

教育講演は午前に 1 時間予定しておりますので、今年度は認定技師を取得された方をお願いしてはどうでしょうか(帖佐部長)

一人当たり 15 分を目処に今回 3 名の方をお願いしてはどうでしょうか。部門長会議で一度お願いしてください。(兼子議長)

印刷業者は秋季拡大研修会と同じ業者をお願いしたいですがよろしいでしょうか。(柴部長)

問題ありません。よろしくお願いします。(兼子議長)

帖佐部長より學術部からの報告があった。

H28 年度 病院協会医学会についての報告があった。

10 月 30 日高山市 飛騨・世界生活文化センターにて、H28 年度 病院協会医学会が行われました。参加人数は 70 名(1 名は会員申請中)。その内、座長 5 名、演題発表 24 名が参加しました。(帖佐部長)

一般演題発表者と座長については以下のとおりである。

(検査 1) が加納 彩野さん(大垣市民病院)「当検査室における血小板数低値および凝集時の対処法について」、杉山 直久さん(大垣市民病院)「ヘモグロビン A1c (HbA1c) 低値を契機にわかりえた遺伝性球状赤血球症について」、森川 咲子さん(社会医療法人 厚生会 木沢記念病院)「APTT クロスミキシング試験における密閉の有無と検体量が与える影響」、石原 彩さん(医療法人 香徳会 関中央病院)「当院における輸血後感染症検査の取り組み」、松井 美沙紀さん(岐阜県立多治見病院)「採血管準備装置 i/prescore の使用経験」、座長は渡邊 宜典さん(JA 岐阜県厚生連 岐北厚生病院)であった。(帖佐部長)

(検査 2) が清水 繁行さん(大垣市民病院)「ルミパルスプレストブラームス PCT の基礎的検討」、森 志穂さん(岐阜県総合医療センター)「慢性肝疾患患者における M2BPGi と ARFI との関連性」、廣瀬 裕哉さん(社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院)「ルミパルス HBsAg-HQ の基礎的検討」、長尾 容子さん(美濃市立美濃病院)「当院における医療技術局感染対策チームの取り組み」、浅野 敦さん(大垣市民病院)「セルブロック標本における各種固定液間での細胞形態および染色性の比較」、座長は藤木 誠さん(地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院)であった。(帖佐部長)

(検査 3) が内田 陽平さん(JA 岐阜県厚生連 掛斐厚生病院)「感染性心内膜炎に合併した僧帽弁穿孔の一例」、只 博美さん(美濃市立美濃病院)「当院における下枝静脈エコーの現状」、中原 直美さん(羽島市民病院)「当院における経胸壁心臓超音波検査時の腹部大動脈瘤描出についての検討」、熊崎 幸代さん(地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院)「胎児心エコーにおける当院での取り組み」、大塚 真子さん(岐阜県総合医療センター)「腹部超音波検査にて上腸間膜動脈に壁肥厚を認めた高安動脈炎の一例」、座長は稲田 隆行さん(岐阜市民病院)であった。(帖佐部長)

(検査 P1・ポスター形式) は中島 直美さん(大垣市民病院)「当検査室で持続陽圧呼吸(CPAP)介入した患者の動向について」、神谷 敏之さん(社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院)「ホルター心電図検査で持続性心室頻拍との鑑別が困難であった 1 例」、白井 菜月さん(岐阜県総合医療センター)「陳旧性心筋梗塞患者における安静時心拍数と運動耐容能との関連性」、澤本 真吾さん(社会医療法人 厚生会 木沢記念病院)「SPP 検査が PPI 施行後の経過観察として有用であった症例」座長は武藤 次郎さん(岐阜赤十字病院)であった。(帖佐部長)

(検査 P2・ポスター形式) は関 敏秀さん(JA 岐阜県厚生連 掛斐厚生病院)「子宮頸がん検診の癌発見と細胞検査士の役割について」、各務 里奈さん(JA 岐阜県厚生連 中濃厚生病院)「病理検体マーキングに用いる色素についての比較」、道下 博史さん(高山赤十字病院)「当院における婦人科液状細胞診導入の経緯とそのメリット・デメリットについて」、高原 里美さん(高山赤十字病院)「STEC 培地非発育の腸管出血性大腸炎 O-115 を検出した 1 症例」、松山 祐也さん(高山赤十字病院)「PCT 院内測定法の変更と併用運用について」、座長は横山 昇一さん(国民健康保険 飛騨市民病院)であった。(帖佐部長)

帖佐部長より H28 年度 秋季拡大研修会についての報告があった。

11 月 13 日セラミックパーク MINO にて、H28 年度 秋季拡大研修会が行われました。参加人数は 98 名(会員 86 名、賛助会員 12 名)。その内、座長 3 名、市民公開講座は 11 名の参加。研修会報告の詳細につきましては、東濃地区(担当)理事より理事会で報告されます。(帖佐部長)

帖佐部長より輸血実技研修会の報告があった。

11 月 12 日岐阜医療科学大学で輸血実技研修会が行われました。参加人数 14 名、学生 13

名、実務員 6 名でした。当初の予算書では試薬代だけで 12 万を超え赤字額が心配されていましたが、部門長、部門員の協力で試薬代が 7 万台、その他物品の寄付などにより赤字額 5588 円まで抑えた内容となりました。(帖佐部長)

収入部門内訳は

運営費・日本臨床検査技師会負担分 (20,000 円)

運営費・岐阜県臨床検査技師会負担分 (5,588 円)

運営費・研修会参加者による事業助成金 500 円×14 人 (7,000 円)

参加費・県内会員 13 名×4,000 円 (52,000 円)

参加費・県外会員 1 名×4,000 円 (4,000 円)

収入合計額 88,588 円

支出部門内訳は

会員講師日当 1,000 円×6 名 (6,000 円)

会員講師交通費合計 (9,600 円)

消耗品費用 (72,883 円)

雑費(105 円)

支出合計額 88,588 円

佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

第 3 回精度管理会議報告会を平成 28 年 10 月 28 日 (金) 19:00~20:30 に開催しました。会場は岐阜県臨床検査技師会事務所で出席者は佐藤理事、田中 滋人さん、伊藤 秀明さん、渡邊 景介さん、武藤 延秋さん、酒井 美穂さん、大森 由香里さん、加藤雅子さん、山本 将毅さん、長島 敏之さん、八木 良仁さん、野久 謙さん、片桐 恭雄さん、玉置 佳澄さんの 14 名で、欠席者は山本 初津恵さん、平光 幹彦さん、近藤 眞一さんの 3 名であった。(佐藤部長)

議題 1 (最終評価の確認と問題点) について

生理検査・腹部エコーでは一次評価で正解率が 40%であったという設問があり、再入力期間で 70%となったので評価対象とすることとした。

一般検査ではフォトサーベイの一次評価で D 評価をうけた施設が 11 あったという設問があり、再入力期間で全施設正解となった。

血液検査は白血球数で値の集束が悪いという問い合わせが数施設あった。これらは内部精度管理やこれまでの評価が高い施設でもあり、またメーカーに機械について調査してもらっても問題が見られなかったことから、資料に何らかの問題あると判断し 8 施設を評価対象外とした。原因は推察される状況では確認できていない。

微生物検査は菌名が特定できない資料があったので菌名の許容範囲を広げて対応した。

是正報告書の提出について送り先が明記されていなかったため、9 施設が岐臨技事務所に送付してきており担当部員の手元に届いていなかった。次年度は記載するようにする。

是正報告書は本年度からフォトサーベイでも提出してもらえるようにした。どのように是正したかという点など書きにくい領域もあるとの指摘があるが、再検討する意義は重要であり今後もすべてについて行っていく。「再研修報告書」にしては？という意見もあり次年度への検討案となった。二次サーベイの資料は責任者宛にて届くが担当者レベルで資料発送が決定されていて責任者が知らなかったという施設があった。こちらからの文書のどこかに責任者に伝わるような一文を加えるように工夫する。

一次評価はC・D評価についてのみ報告があったが結果が到着していないと捉えた施設もあったようである。まだ再入力できていない施設があり 10月31日から11月4日を入力期間として設ける。(佐藤部長)

議題2(総括集)については、

総括集の原稿締め切は11月27日、原稿の雛形は統一したものを部長が用意して部員に送る。前日同様、原稿は事務所へメール添付ファイルとして送信、事務で一つのホルダーに統合する。総括集納品は12月24日、発送は12月下旬の予定。(佐藤部長)

議題3(精度管理報告会)については

報告会スライドの締め切りは1月22日。23日には報告会資料が公開される。JAMTQCにアップデートするとともに当日使用のため近藤さんに送る。

報告会は岐阜大学医学部付属病院古田技師長に「共用基準範囲について」を依頼済み。講師料は10,000円。理事会承認済み。

各研究班の報告者についての講師料について、会計担当が理事会に承認することとなった。(佐藤部長)

報告会当日のスケジュールは以下の通りである。

会長の開会の挨拶、副会長の閉会の挨拶については部長から依頼する。

13:00 開会の挨拶	兼子徹会長
13:05 精度管理総括	佐藤恵彦理事
13:20 標準化総括	平光幹彦さん
13:35 臨床化学検査I	渡邊景介さん
13:55 臨床科学検査II	大森由香里さん
14:05 免疫血清検査	武藤信明さん
14:25 一般検査	加藤雅子さん
14:35 休憩	
14:45 病理検査	片桐恭雄さん
14:55 細胞検査	酒井美穂さん
15:05 生理検査	野久謙さん
15:15 微生物検査	長島敏之さん
15:25 輸血検査	八木良仁さん
15:35 特殊企画	仮「共用基準範囲実用の現状」 古田伸行さん

16:35 閉会の挨拶 棚村副会長

16:40 終了

議題 4 (その他) については

1. 岐阜総合医療センターから心電図フォトサーベイ設問作成にあたり依頼書を求められ、提出した。
2. HbA1c の高値検体について、次年度は岐阜医療科学大学の前田先生から提供していただけそうである。
3. 二次サーベイが終了しないうちに正解表示はしない。
4. 臨床検体のゆうパック送付について今後 4 重包装、ジュラルミンケースが必要となる。どうしていくか検討が必要で他の運送会社への変更も考えている。
日通が骨髄バンクや臍帯血などの取り扱いがあるようですので一度尋ねてはいかがでしょうか。(帖差部長)
ありがとうございます。検討します。(佐藤部長)
5. 輸血資料の来年度の契約について、現段階で必要とされており契約を続ける。(佐藤部長)

臨床科学資料について (日臨技から提供される資料の使用について)

JAMT—QC1、JAM—QC2、各 2ml 1 本 (1,100 円)

予算 1,100 円×2 濃度×100 本=220,000 円

現状は 500 円×2 濃度×100 本=100,000 円

であり価格は 2 倍になるが無難であり今後検討していきたい。(佐藤部長)

精度管理報告会 (助成金申請) について

予算は申請済で来年 2 月に決算報告を予定している。(佐藤部長)

平成 28 年度精度保障施設認定申請について

申請書類受付期間は平成 28 年 10 月 3 日 (月) ~11 月 30 日 (水)、岐阜県内認証申請可能施設は (認証済含む) 47 施設である。JAMTQC より HP より申請書ダウンロード、認定費用は 50,000 円である。(佐藤部長)

岐阜県内の各施設に促すのはどうでしょうか。(兼子議長)

施設長に一斉メールしたいと思います。(佐藤部長)

生物化学分析部門研修会は 11 月 27 日 (日) 10:00~16:00

岐阜医療科学大学の実習室にて、内容は「ELISA を通じて学ぶ免疫検体の正体」

参加費は 1,000 円 (昼食付) (佐藤部長)

野久先生より生理検査で再入力がかまくいかなかったという連絡がありましたが。(帖差部長)

スマートフォンでの入力がうまくできなかったという報告はありました。ネットの不具合があったのか。一度調査します。(佐藤部長)

清水部長より組織調査部からの報告があった。

平成 28 年度無料 HIV 検査会事前スタッフ研修会が 10 月 20 日（木曜日）にハートフルスクエア G 中研修室で行われました。例年、岐阜県の保健医療の一環として執り行われる「無料 HIV 検査会」の事前スタッフ研修会に参加しました。今年も岐臨技として是非参加協力したいと思います。例年にならって打合せの他、講演として「受験者アンケートの結果からみた都会地域の HIV 抗体検査受検者の動向」があった。MSM の推定 HIV 発生率は都会では減少傾向であるが岐阜県は増加していて、AIDS 発生率も増加していることからみても、県が主催する検査会は非常に有意義だと思われます。今後も引き続き開催されることを希望します。（清水部長）

平成 28 年度無料 HIV 検査会が 11 月 13 日（日曜日）にハートフルスクエア G 交流サロンでありました。例年の如く岐阜県の保健医療の一環として執り行われる「無料 HIV 検査会」に岐臨技として参加しました。出席者は山本 初津江さん、番匠 麻美さん、臼井 信雄さん、細野 由未奈さん、恩田 あゆみさん、清水理事の 6 名に協力をいただきました。今回で 6 回目の開催です。受検者数は例年とほぼ同じで 32 件でしたが陽性を認めませんでした。（清水部長）

HIV 啓蒙活動に参加します。日時は平成 28 年 11 月 19 日（土曜日）9 時 00 分～12 時 30 分。岐阜経済大学の学園祭にて HIV への啓蒙活動に大垣保健所より参加要請があり、岐臨技として参加協力することになりました。内容は HIV 啓蒙グッズ（コンドーム、パンフレットなど）の配布。会場は大垣市北方町 5-50 岐阜経済大学内。出席者は浅野 敦理事、川島 直樹理事、清水 康之理事、子安 光さん、森永 貴之さん、井筒 萌香さん、外川 綱生さんの 7 名である。（清水部長）

平成 28 年度「検査と健康展」は 11 月 20 日にアルプラザ大垣鶴見店で開催します。

フロアスタッフは兼子会長（澤田病院）検査医先生対応・会場担当（検査の仕事紹介）。浅野副会長（大垣市民病院）受付担当。松浦理事（メディック）勧誘、撮影。川島理事（西美濃厚生病院）勧誘。臼井 信雄さん（大垣徳洲会病院）会場担当（検査の仕事紹介）。関 敏秀さん（揖斐濃厚生病院）骨密度担当。金山 好光さん（関ヶ原病院）骨密度担当。寺田 浩史さん（西美濃厚生病院）骨密度担当。野村 みどりさん（大垣徳洲会病院）血管年齢担当。桑原 理恵さん（博愛会病院）血管年齢担当。中西 志保さん（博愛会病院）血管年齢担当。清水部長（大垣徳洲会病院）の計 12 名であった。

各部門のブース担当者は、生物化学部門のブースは高崎理事（岐阜医療科学大学）、乙訓理事（岐阜医療科学大学）。生理機能ブースは石郷 景子さん（大垣市民病院）、今吉 由美さん（大垣市民病院）、倉家 淳さん（高山赤十字病院）、上野 知佳さん（中濃厚生病院）、石井 美江さん（可児とうのう病院）、岡田 真紀さん（木沢記念病院）、伊藤 葵さん（木沢記念病院）、伊藤 亜子さん（岐阜大学病院）、番匠 麻実さん（岐阜大学病院）、細野 裕美奈さん（岐阜大学病院）。臨床一般部門のブースは林 晃司さん（岐阜日赤病院）、

須佐 知子さん（大垣市民病院）、建部 正彦さん（岐阜県総合医療センター）。臨床血液部門のブースは杉山 直久さん（大垣市民病院）。病理細胞部門のブースは石井 辰弥さん（大垣市民病院）、片桐 恭雄さん（岐阜大学病院）。臨床微生物部門のブースは後藤 孝司さん（大垣市民病院）、栗野 佑子さん（大垣市民病院）。輸血細胞治療部門のブースは森本 剛史さん（松波総合病院）。健康相談のブースは森 さゆりさん（岐阜中央病院）、森永 朝美さん（大垣市民病院）。学校紹介のブースは田下 智恵子さん（岐阜医療科学大学）計 24 名である。（清水部長）

高崎部長欠席のため、代わりに乙訓部長より広報宣伝部からの報告があった。

会報誌の発行については

第 1 号（8 月）会長挨拶 新理事紹介など

第 2 号（10 月）全国学会

第 3 号（12 月）秋季拡大研修会、検査と健康展

第 4 号（1 月）念頭の挨拶

第 5 号（3 月）県学会

タイムスケジュールについては

投稿願いは（発行日の前月 1 日より依頼）11 月 18 日（金）依頼する。

原稿締め切りは（発行月の前月末日）12 月 9 日（金）の予定である。

内容確認と校正は（発行月の理事会日）12 月 16 日（金）の予定である。

発送は（発行月 20 日）12 月 20 日（火）予定である。

平成 28 年度第 3 号については

1. 秋季拡大研修会 市川先生（中津川市民）依頼済み
2. 検査と健康展 清水先生（大垣徳州会）依頼済み
3. 大垣市市民健康広場 高木先生（大垣市民）依頼済み
4. ぎふ市民健康まつり 後藤先生（揖斐厚生）依頼済み
5. 施設紹介 飛騨地区 高山赤十字病院（舟橋先生）依頼済み 中濃地区（高崎）
6. その他 何か投稿したいことがあればメールしてください。

平成 28 年度第 4 号について

1. 年頭のあいさつ 兼子会長
2. 各部門からの投稿記事 臨床血液部門 新川先生（大垣市民）、池井戸先生（土岐総合）
3. 施設紹介は西濃地区（清水先生）東濃地区（棚村先生）に依頼した。
4. その他

柴理事より渉外部からの報告があった。

渉外部の報告は特にありませんが個人の出張について報告いたします。

東京の晴海グランドホテルにて地域ニューリーダー講習会がありました。11 月 5～7 日の

3日間での開催で参加者は47都道府県中37都道府県の37名が参加。10都道府県は参加がありませんでした。このことで会長・副会長は感情をあらわにする場面もみられました。今回講習会の年齢対象は35歳から40代であり平均年齢は42歳であった。男女比は男性27名女性10名であった。内容は宮島会長の挨拶から始まり1日目と2日目の前半がオフサイトミーティング。2日目後半と3日目前半がMTSステップ表。日臨技の島村代行の講義、そして宮島会長の挨拶で終わった。(柴部長)

日程は

5日 15:00 開始。20:00 終了 (懇親会含)

6日 8:30 開始 22:00 終了

7日 8:30 開始 12:30 終了

晴海グランドホテルで宿泊した。福島臨床検査技師会の方と相部屋であった。同チームは千葉・秋田・高知・佐賀県の臨床検査技師会の方であった。修了書を頂いて、講習会を無事終了した。

乙訓部長より会計部からの報告があった。

9月の決算表で金額の高いものをピックアップすると収益では精度管理参加費(340,000円) 広告料(122,000円) 公益事業助成金(500,000円) 学会研修会助成金(272,000円) があった。経常収益計は(1,307,552円)であった。

費用では精度管理試料代(488,754円)があった。経常費用計は(1,226,173円)であった。当期増減額は(+81,379円)であった。(乙訓部長)

兼子議長より会計監査の報告がありました。

会計監査は11月14日に終了しました。牛丸会計士と太田監事、森監事が参加して行いました。牛丸会計士より備品台帳、資産台帳を作るように指摘を受けました。(兼子議長) 備品関係は購入年月日が必要ですが。(浅野副会長)

領収書があれば調べることが可能だと思います。来年の4月1日頃まで作成します。今後、購入したものは資産として今後、台帳に追加するように言われました。(兼子議長) 中間決算書はこれから作成いたします。2月の理事会で承認を頂きたいとおもいます。同時に予算書の作成も進めますので各理事の方は予算書を提出してください。各部門長さんへは学術部よりお伝えください。入力用のエクセル表を送りますのでそれに入力し返信してください。お願いいたします。12月25日までにメールで送って頂きたい。(兼子議長)

その他について

11月20日の検査と健康展の集合時間と場所を教えてください。(乙訓部長)

集合時間は午前8時で東側の業者搬入口から入っていただきたい。(清水部長)

前回の理事会で議題になった保険についてですが日臨技の保険はすでに入っており、内訳は死亡・後遺障害 120 万円、入院保険日額 2,100 円、通院保険日額 1,400 円となっている。研修会や健康まつりも保険の対象に含まれます。会務のための通勤も対象に含まれます。(兼子議長)

今回別の資料を一部用意しました。レクエーション補償用プラン(障害保険)という保険ですが、1日1名あたりの保険料は50円からあります。条件として参加者数が1日につき20名以上となっています。いかがでしょうか。日臨技と2重に入ることになります。(兼子議長)

顕微鏡とか高額な機器を扱う場合の機器保証が気になります。(浅野副会長)

日臨技の保険は物品の破損は対象になっていますか。(帖佐部長)


日臨技の保険は物品の破損は対象外です。(兼子議長)

参加者の了承を得て研修会の参加費で賄えれば良いような気もいたします。(浅野副会長)

傷害保険は現状通り日臨技の保険のみで賄えますが、物品に関する保険が今後必要であれば岐臨技からも検討していきたいと思います。(兼子議長)

岐阜県臨床検査技師会名簿は今後、いつ発行されますか。(佐藤部長)

平成26年度を最後に、個人情報の関係もあり発行を終了いたしました。今後は岐臨技事務所で閲覧のみが可能です。日臨技の会員の閲覧も可能です。(兼子議長)

議長 兼子 徹 

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 棚村 一孝 